DETECTIVE CONAN CARD GAME

ゲームのルールをさらに詳しく知りたいときや、プレイ中に疑問点が出たときは、公式サイトでチェックしてください。
www.takaratomy.co.jp/products/conan-cardgame/

現場

キャラを配置する場所です(最大5人、同キャラ配置も可能)。
そのターンに現場に出たキャラは「名乗り」状態となり、推理とアクションができません。
キャラが5人いる状態で他のキャラを現場に出す場合、いずれかのキャラをリムーブして出します(スイッチ)。

ゲームの準備

1. パートナーカードをA、事件カードをBに、それぞれ裏向きで置きます。
2. 残りの40枚のカード(デッキ)をよくシャッフルしてCに置きます。
3. じゃんけんなどランダムな方法で先攻／後攻を決めます(勝った方が先攻になります)。
4. デッキからカードを5枚引いて手札にします。
5. 先攻が、引き直しをするかを決めます(引き直す場合、手札から好きな枚数のカードをデッキに戻してシャッフルし、それと同じ枚数をデッキから引き直します)。続いて後攻が、同様に引き直しをするかを決めます。
6. 事件カードとパートナーカードを表に向けて「ゲームスタート」!
以降はターン進行に沿って進めてください。

ターン進行表

オートフェイズ

以下の行動を順番に行います。

1. パートナーをアクティブ状態にする。
FILEエリアに置かれている場合は元に戻す。
2. キャラをすべてアクティブ状態にする。
3. デッキからカードを1枚引き、手札に加える。
4. デッキからカードを上から2枚、1枚ずつ裏向きのままFILEエリアに置く。(先攻の1ターン目のみ1枚)

※(1ターン目など)できる状況でなければ、手順1と2はスキップします。

メインフェイズ

以下の行動を、好きな順番で好きな回数行います。

01.手札の使用(1回まで)	04.【宣言】能力の使用
02.ネクストヒント	05.推理
03.パートナーの能力の使用	06.アクション

エンドフェイズ

ターン終了時の処理を行い、相手のターンに移ります。

A パートナー

ここにパートナーカードを配置します。

「事件レベル」分の証拠数を集め、パートナーの能力【事件解決】を使用することでゲームに勝利できます。

推理／アクション早見表

推理やアクションの宣言後、実行するキャラ／パートナーをスリープさせます。

推理(キャラ、パートナーが可能)
→ キャラ／パートナーのLPと同じ数の証拠を獲得

アクション(キャラが可能)

- スリープ(スタン)状態のキャラが対象
  - 相手がガードしない → 対象のキャラとコンタクトが発生
  - 相手がガードを行った → ガードしたキャラとコンタクトが発生
- (証拠が1つ以上ある)事件が対象
  - 相手がガードしない → 相手の証拠を−1し自分の証拠を+1する

コンタクト中のキャラのAPを比較

- アクションを実行したキャラのAP ≧ 相手キャラのAP ▶▶▶ 相手キャラをリムーブ
- アクションを実行したキャラのAP < 相手キャラのAP ▶▶▶ 何も起こらない

コンタクトが発生したら
手札に【カットイン】や【変装】を持つカードがあれば、両プレイヤーが1回ずつ行動できます。
コンタクト中のキャラのAPが、より低いプレイヤー(両キャラのAPが同じ場合は相手プレイヤー)が先に行動します。先攻がパスして後攻が行動した場合、先攻はそのあとで1回行動できます。

FILEエリア

カードを裏面・横向きで並べます。アシストしたパートナーも、ここに移動します。
キャラカードやイベントカードを手札から使用する際に、FILEエリアに置かれたカードの枚数を参照します。

アシストしたパートナーはFILEエリアへ移動

アシスト時にFILEの合計枚数が7枚以上なら……

事件編→解決編への移行

パートナーが【アシスト】を行ったとき、FILEの合計枚数が7枚以上であれば、事件は解決編に移行します。事件編／解決編マーカーを裏返し、「解決編」にしてください。

※事件編の状態では【事件解決】が行えず、ゲームに勝利することができません。

B 事件

事件カードを配置し、その上に事件編／解決編マーカーを置きます。

証拠エリア

証拠を獲得したら、ここに1枚ずつ裏面・横向きで置きます。

C デッキ

自分のデッキを置きます。

リムーブエリア

リムーブされたキャラや証拠、使用したイベントを表向きで置きます。

デッキのカードがなくなった場合は、リムーブエリアのカードをシャッフルしてデッキに置きます(リフレッシュ)。そのあと、相手は証拠を1枚獲得します。カードを指定の枚数引いたり、証拠／FILEエリアに置く途中でリフレッシュした場合は、そのあとで残りの枚数分を実行します。

©青山剛昌／小学館 © TOMY